昭和49年5月1日第三種郵便物認可

静岡ユースサッカー
THE YOUTH SOCCER

7月1日 木曜日
昭和51年（1976年）

発行所
静岡県清水市サッカー協会
発行人　協会理事長堀田哲爾
編集人　サッカーニュース社
二本木一夫
清水市辻町5丁目1の31
電話(0543)67－1970清水ゴール
編集専用電話66－5282(代)

毎月1回発行　1部20円

PEPSI

第36回 県スポーツ祭サッカー

清水代表チーム 三年連続の優勝を飾る！

がんばれ！清水有度一 育成会

第三十回県スポーツ祭サッカー競技は五月三十日、焼津石津浜サッカー場にて九種別十一試合の決勝が行われ各種別出場の清水代表チームが大活躍、総合得点で三年連続都市対抗戦に優勝した。

この日決勝進出の種別は少年団親子チームの有一と辻、OBの全清水、中学の部で七中教員の部の東海小の四種別五チームであったが、そのうち親子大会は清水同士の決勝戦であったが、子どもが2対1、親が4対0、計6対1のスコアで有一が初優勝した。

OBの部では地元焼津と対戦、両軍ベテランぞろいの好試合を展開、全清水では松永、大谷、望月、大勝、浄見、小花のサッカー協会の大黒柱チーム。これに対して焼津も岩田、望月、武田、小林、原田、松永の大ベテランチーム。一進一退のゲームが50分続いたが、結局両軍無得点、両チームの優勝が決まった。

教員チーム対抗リーグ戦では加藤、望月保、渡辺、青山、望月英の若手中心の東海小チームが二勝二引分の小差で浜松を破り、これまた三年連続優勝した。

中学決勝に進出した七中もよくがんばり、試合開始5分までは互角以上のゲーム展開をしていたが、藤枝桜井に中盤からトップにかけてかきまわされ、一方的な5対0で敗れた。

社会人選抜チームは十六チーム参加のところ三位、高校代表清水工必修クラブは一回戦で敗れ参加点のみ、しかしながら優勝の種別、得点の多い種別優勝のおかげで、二位静岡を小差であるが破り優勝した。

❖優勝チームの横顔❖
有度一親子チーム
抜群の組織力

清水市第一回育成大会に優勝、小島とともに最初に発足したチーム。指導者に中島孝志氏と望月のコンビは清水一。育成会には永田、望月、中嶋、堤、三田、川口、大谷、石上、奥山、田中、滝田、小山とサッカー歴二年目をむかえたベテランぞろい。大石博司氏を会長にむかえ、その組織がすばらしい。これが子どもにまで伝わり、今年の三年四年六年は市リーグでも優勝候補。スポーツ祭での優勝は意義深い。

塚本を中心とした中盤に対し福地、堀田のトップ、松下、金田の五年生バックに三田、宮城島、杉山、川端の運動量は一回戦から決勝の辻戦まですばらしい力を示した。

全清水OB
松永氏を代表に
かつての入賞メンバー

松永信夫氏を代表に大谷、塩沢、堀田、浄見、小花、望月、北川内山のチームは十数年前全国都市対抗上位入賞チームのメンバーである。いまここにOBとして静岡県のチャンピオンにふたたびかがやき、今後の活躍が期待できる。

なお世話役には望月康弘氏と清水博史氏があたり、西日本OB連盟に加入した。

東海小教員
三年連続
優勝！

清水市の小中学校の先生を中心に望月保次コーチのまとめたチーム。今年で三年連続優勝。加藤、渡辺、望月井川、青山、望月のメンバーは若手とベテランのミックスチームで他のチームをよせつけなかった。

東海サッカー協会
刈谷での少年指導者研修会終わる！

東海サッカー協会少年担当小中技術研究部（委員長小野隆氏）は東海四県全国大会予選会をかね研修会が行われた。今回は刈谷服部氏の音頭とりで七十名の参加。熱心な実技と質疑が行われた。日本サッカー協会小中委員長堀田氏と同委員の杉山隆一氏の二名が講師となり、今後の少年サッカー指導の指針を示した。講習会参加終了者は次のとおり。

宮川浩美　水谷憲春
鈴木克芳　倉地俊信
清田由雄　小池克治
近藤文次　山口栄三
成瀬退三　山田正樹
村上弥寿雄　松本恵司
高木　章　池永昌雄
鈴木和衛　山下　泉
高橋　純　小野　清
斉藤光紀　小花公生
鈴木石根　榎田博文
杉浦　勉　高松和夫
恵良貞夫　大谷　悟
栗田哲朗　金子幸徳
山中俊和　渡辺　明
加藤文隆　渡辺英一
大原紀幸　内藤秀実
神谷康治　神谷伸泰
伊藤良平　神谷正衛
大場輝夫　川崎昇嗣
平松繁春　関　信一
神谷秀夫　山田武男
万本清隆　宮田　普
浅野洋一　青山弘子
吉永康子　市川和子
神谷光俊　樋口保男
松村正美　崎井清司
吉田　誠　阿波弘康
西条一博　角岡昭彦
深谷龍正　石川克洋
井沢邦彦　寺西貞雄
横井清幸　岡田憲三
飯海平八郎　服部正義
久米幸夫　位田　隆
鈴木良韶　山田五道
稲垣秀明　袴田進示

第三回チャイルド教室
六月五日スタート
二世の参加も増加！

第三回チャイルドサッカー教室は六月五日よりスタート、毎週土曜日ごとに辻会場にて行われている。

今回の参加者のなかにはむかしサッカーをプレーした二世が多く清水東の勝沢氏の長男健くん、五中中井先生の長男哲人くん、静工のゴールキーパーだった大獄氏の真人くん、清水小コーチの鈴木啓一郎氏の長男泰昭くん等がいる。

総勢五十六名で一年間行われ、三月には東京への遠征も計画されており、今から団体生活の精神とサッカーの楽しさを学ぶ姿勢づくりに指導者も汗だく。

十月からのリーグ戦にも出るのだとはりきっている。

㊙ サッカーボール

清水小三年
えびおかひであき

太陽の下で
はねたり　けったり
サッカーボール
ぼくらは　ボールを
おいかける
まるで　ボールと
おいかけっこ
オール清水を
めざして
今日もがんばる
清水っ子

少年サッカー指導教程 ①

日本サッカー協会公認コーチ　堀田哲爾

〝はじめに〟

よく、少年指導のよいパンフレットか本はありませんかと質問され、友人や先輩からも本を出したらどうだといわれます。

しかしまだ少年サッカー指導の勉強中だからと断り続けてきましたが、今回このユースサッカーニュースを使って、私が今まで考えてきた少年サッカー指導の教程とポイントを系統的に書きおろし、連載したいと思います。

あらゆる角度からサッカーを分析し、助言の方法と能率的指導の参考にしていただければ幸いです。

教程1「ドリブル」

ドリブルに強くなろう

相手にとられずに自分の仕事で終るのがドリブル。ボールを自分の足のとどく位置に置き、いかなる場から敵が来ても防ぐ力を持つには、ボールをいつでも足でさわれるドリブルをおぼえるべきである。

相手にとられないドリブル

ボールをキープして相手からボールを守るためにはボールをはこぶ位置を常に考えるべきである。

突破するドリブル

スピードを変えて相手を置き去りにすることや、相手の逆をついてつっ走ることがあげられる。

相手を引きつけるドリブル

相手をさそいこむドリブルは次に自分が何をするか相手に知られないドリブルが必要。それでいて自分の考えているプレーができなければならない。

（次号は教程の指導法）

ユースコーチングスクール
いよいよ終盤
7/12リーダーテスト

四十名の受講生で行われた五十～五十一年コーチングスクールはいよいよ終盤をむかえ日本サッカー協会のテスト日程も決まり、大詰めにきた。

今回の特色は三名の女性をふくみ、はじまって一年続くだけで名コーチの名のごとく最後まで四十名、日軽金の薩川、滝、若手の青山、少年指導者の杉山、女性の広岡、石川、松浦、飯田ファイターズの佐藤、望月、栗田等多彩な顔ぶれ。今後の清水サッカーの基礎をつくるべく努力の姿が見られる。

最終コーチングゲームでは清水クラブを3対2で破るすばらしいチームワークを示し、一年間の成果をあらわしている。

PEPSI

第二回清水市育成会リーグ
清水Sと辻 有度一が全勝中！

十八チームの参加により少年リーグ戦と共にスタートした清水市少年育成会サッカーリーグは第三節を終わり清水S、辻、有一、袖師など前評判のあったチームが予想通り好ゲームを展開、二勝をあげトップにならんでいる。

飯田は初戦でや、つまずき、連勝があやぶまれてきた。

一方Aリーグ優勝の清水Sは好調なスタートを切りまず二勝。東海、辻、有一、有二も第二節までは完全に近いゲームを展開してくれた。

今リーグから七時三十分開始となり、出場メンバーも十五人となり、会場も袖師を加え四会場。小雨決行のリーグ戦に各チーム熱心にトレーニングをくりかえしている。

本年度 日本サッカー協会の事業計画決まる

五十一年度役員改選のためおくれていた今年度事業計画が四月初めに決まり、日本サッカー協会より発表された。会場等は未定のものが多いが、盛りだくさんな事業計画が立てられている。

51年度 県サッカー協会役員決まる

社会人組織強化と大会運営の明確化をはかった五十一年度県サッカー協会の役員が決定した。

静岡県サッカー技術の向上と指導部の代表技術委員長にヤマハ発動機の杉山隆一氏に決まり、コーチ養成普及活動に期待されている。

昭和五十一年度静岡県サッカー協会役員名簿

役職	氏名	担当	役職	氏名	担当
会長	山口　森三		技術　普及	八神　英典	本部理事
副会長	山本　二郎		技術　強化	勝沢　要	〃
〃	稲名　嘉男		技術国際交流	碓井　善治	〃
〃	大石　益光		審判　登録	成田　雅明	〃
〃	匂坂　明正		審判　庶務	大津　保夫	〃
〃	原田敢二郎		審判研究部	杉山　茂樹	〃
〃	大村　定男		指導部長	松本　博之	〃
〃	平木　理平		庶務　文書	小花　公生	〃
理事長	松永　弘道	企画	庶務　登録	森　軍治	〃
副理事長	堀田　哲爾	〃	庶務　広報	中島　巌	〃
支部長（東）	加藤　真久	〃	庶務　広報	本多　偉祐	〃
〃（中東）	清水　博史	〃	庶務　記録	植田　永二	〃
〃（中）	大石三樹雄	〃	天皇杯	石川　武宣	理事
〃（中西）	渡辺　昭夫	〃	県リーグ	橋本　忠広	〃
〃（西）	伊藤　泰昭	〃	都市対抗	加藤　真久	〃
総務委員長	望月　孝夫	〃	高校選手権	苫米地康文	〃
技術委員長	杉山　隆一	常任理事	招待サッカー	理事長	〃
審判委員長	村松　幸雄	〃	学生招待	苫米地康文	〃
庶務委員長	小花　公生	〃	少年団大会	鈴木　石根	〃
社会人部長	岩田　理	〃	スポーツ祭	岩田　理	〃
高校生部長	福本　利幸	〃	選抜中学大会	小林　芳夫	〃
高体連部長	〃		日本リーグ	桑原　勝義	〃
中学生部長	小林　芳夫	〃	国体強化一般	杉山　隆一	〃
少年団部長	鈴木　石根	〃	国体強化教員	杉田　基之	〃
庶務（登録）	森　軍治	〃	国体強化高校	勝沢　要	〃
庶務（会計）	村越　広	本部理事	庶務（会計）	徳竹礼二郎	〃
大学・高専	松井　恒二	〃	自治体	池谷　茂	〃
技術コーチ養成	高橋　節夫	〃			

昭和51年度　日本サッカー協会事業計画

試合並びに大会			
第1回ＪＳＬカップサッカー選手権大会	4月3日～5月14日	於	各地
日本サッカーリーグ　1部	8月29日～11月28日	於	各根拠地
	1月16日～2月6日		
日本サッカーリーグ　2部	8月22日～11月7日	於	各根拠地
	1月16日～2月27日		
第10回全国自衛隊サッカー大会	4月28日～5月3日	於	東京・千葉
第18回全国教育系大学サッカー選手権大会	7月27日～7月31日	於	中国地域
第3回全国体育系大学サッカー選手権大会	8月1日～8月5日	於	東京
昭和51年度全国高等学校総合体育大会	8月2日～8月8日	於	新潟
第7回全国中学生サッカー大会	8月16日～8月20日	於	埼玉・大宮他
第6回全国自治体サッカー選手権大会	8月21日～8月26日	於	大分
第9回全国高等専門学校選手権大会	8月27日～8月30日	於	岡山
第31回国民体育大会	10月24日～10月29日	於	佐賀
第12回全国社会人サッカー大会	11月下旬	於	未定
第25回全国大学サッカー選手権大会	11月24日～11月28日	於	東京
第56回天皇杯全日本サッカー選手権大会			
都道府県大会	4月1日～8月15日	於	各都道府県
地域大会	9月1日～11月21日	於	各地域
決勝大会	12月1日～1月1日	於	東京他
昭和51年度全国高校サッカー選手権大会	1月3日～1月8日	於	東京他
同　予選	8月下旬～10月上旬	於	各地
指導普及事業			
サッカー少年団指導者研修会	4月～12月	於	北海道　東北
全国1級審判認定講習会			関西　関東
第1次　5月　第2次　8月　第3次	10～11月	於	未定
昭和51年度コーチングスクール			
前期	7月12日～7月26日	於	未定
後期	11月29日～12月13日		
第10回全国サッカー少年団大会	8月9日～8月14日	於	よみうりランド
公認指導者海外研修会	8月下旬～9月上旬	於	ハンガリー
全国1級審判研修会			東ドイツ他
第1回　8月下旬　第2回　2月		於	関東　関西
地域審判指導員講習会			
第1回	8月下旬	於	関東
第2回	2月	於	関西
地域審判委員長会議	未定	於	未定
第4回ミニサッカー招待大会	2月下旬	於	東京
国際試合及び遠征			
第18回アジアユースサッカー大会	4月20日～5月10日	於	バンコック
国際試合　マンチェスターシティ　4ゲーム	5月中旬		
東京（ナイター）　2ゲーム		於	東京他
地方にて　2ゲーム			
バロセロナ（スペイン）	6月29日～7月6日		
第21回オリンピック競技大会（モントリオール）	7月17日～8月1日	於	カナダ
第5回世界大学サッカー選手権大会	8月1日～8月15日	於	ウルグアイ
第20回ムルデカ・フットボール大会	8月7日～8月27日	於	マレーシア
日韓高校スポーツ交歓競技大会	8月19日21日または26日28日	於	東京
第6回朴大統領杯サッカー大会	9月11日～9月25日	於	韓国ソウル
第5回日韓定期戦	未定	於	東京
朝日招待サッカー	未定	於	未定
高校選抜海外遠征試合	3月下旬～4月上旬	於	未定
第6回マラハリムカップ大会	3月下旬～4月上旬	於	未定
日韓リーグ対抗試合	6月上旬	於	インドネシア
リエカ　トーナメント	6月～7月ごろ	於	ユーゴ

編集ノート

一昨年の七夕豪雨の記憶も新しい、七月である。沖縄ではとうに梅雨明け宣言だが、こちらは集中豪雨のおきやすい時期に入る。これを通り越せば本格的な夏が訪れ、夏期合宿に遠征にとサッカー少年たちは忙しくなる。元気に鍛えられてほしい◆郵便料金の値上げ以前から、暑中見舞のはがきは年毎に減少し続けていると印刷業者がこぼしているので、夏にはお元気ですか、お正月にはお目出とう位のPRを関係業者が積極的にやったことがあるかねと尋ねたが返事はなかった。年に二枚のはがきで季節の区切り、身辺の消息が届けられるのだと計算すれば二十円は虚礼でないと考えている◆一日から新幹線ひかり号の静岡駅停車が上下各一本実現した。利用者に便利になる事は大いに歓迎したい。（二本木）

少年サッカーとチームプレー

なにか得意なものを

最近、学習塾がまたはやり出した。一つの流行みたいなもので、学年やクラスによって多い所と少い所がある。日本人はどうも人がやると自分もやらなければおいてきぼりになった気分になる人種らしい。だから友だちや仲間が塾通いすると、自分も行きたくなるし親もその気になるらしい。学習塾は一がいに悪いとはいえないし、少なくとも学校教育に対する信頼のうすれている証拠である。

特に中学はひどい。高校入試の必要条件として塾を進める先生すらいる。記憶力を増すことや計算の力をつけるにはたしかに多くの問題と対決する必要がある。しかし問題解決の場で、教師と生徒がともに頭をねり合って考え苦しむことこそ人間の人格形成に役立つことを忘れてはいないだろうか。

小学生のなかにもピアノ、習字、英語、学習塾と四つも五つも通っている子どもがいるが、何でも小さいうちに才能をのばすことは大切なことです。しかし、たとえ小学生のときピアノも一番、習字も一番、英語も一番だとしても、始めたのが早いから一番だということであって、これが才能教育になるものだろうか。

たとえばみんなが六才でピアノを学ぶようになったら、それでも特別な先生に個人的につけるだろうか、もしそうなっても特別指導を受けるならば良いと思う。

これが才能教育であって、いまの塾通いはほとんど親のミエではないだろうか。

スポーツの世界でも子どものときはいろいろなスポーツを学ぶことは大切だとはいうものの、いろいろなものをやりすぎて得意とする中心がなくなってしまう。むかしから万能選手は多くあったが、それらの人はほとんどの人が陸上というポイントとなる記録をもっていた。

日本スポーツ少年団本部でも、少年団発足当時は多種目的少年団を奨励していたが十年たったいま、一つの核となるスポーツの上にたって他の種目をやることをすすめているのが現状である。

これはサッカー指導のなかでもいえる。全般的に個人のレベルをあげることも大切であるが、それは最低限チームのレベルとして示し、あとはこの個人のどこを最大限のばすかを指導すべきである。すなわち、その子のもっている良さをのばすこと、これが個性的プレーのできる源ではないだろうか。（哲）

夏期合宿に200名参加

清水サッカー協会少年サッカーの夏休み計画！

今年も全清水の夏休み計画がそろそろ決まる。なかでも六年の部は七月二十五日から三日間の合宿に続き、四日市の全国選抜大会、その後八月三日より全清水合宿に合流、八月八日港まつりサッカー大会の後、九日からの全国大会、八月二十二日からの甲府招待、そして八月二十八日からの西日本サッカー大会とゲーム数だけで十二試合を数える。

関西の西日本大会には神戸フットボールクラブの特別なはからいで四年クラスから中三クラスまで全クラスに参加が決まり、各クラスで力の入ったトレーニングに入っている。

なお全日程の決まるのは七月初旬の予定。

全清水二年連続の全国大会出場決まる

五十一年度第十回全国サッカー少年団大会東海予選大会は六月六日刈谷市において東海四県代表四チームが出場代表の決定戦を行なった。

県内予選で一方的な勝利で東海大会に出場した全清水は東海大会でも全く他のチームをよせつけず、一回戦の岐阜を6対0、決勝で愛知代表の刈谷を9対0で敗り東海第一位で推選された。

なお二位刈谷、三位四日市で、三位までのチームが八月九日よりよみうりランドで行われる全国大会に出場する。

▲写真は六月二十日清水少年リーグ六年東部第三節辻対中河内戦より

全日本コーチングスクールに中島孝志氏の参加が決まる！

かねて中東部および少年団より推選のあった有度一小教諭中島氏は七月十一日より二十五日（前期）に行われるJFAコーチングスクールに参加が決定した。

これは日本サッカー協会が全国から優秀な指導者を選び、公認コーチとしては日本最高のもので、今までに小中学校の先生が参加したのは非常に少ない。

なお芙蓉クラブコーチの青木氏も県代表として同じく選ばれた。

なお成績によって後期コーチングスクールに参加できるかは決まる。

PEPSI

全日本ユースユーゴへ遠征 清水からも三人が参加

ユーゴのリエカチームより招待のあった世界ユーストーナメント大会の参加チームに清水の内山、長沢、岡田の三君が選ばれ遠征した。

この三人、いずれも清水東高出身で近代サッカー技術の中にスピードをもった選手。なお静岡学園出身の川口選手も選ばれている。

第2回清水市サッカー少年団育成会親善交歓リーグ戦要項

目　　的　親善第一とし，少年サッカー普及のための指導技術習得と家庭づくりと，健康と体力の増進を目的とする。

参加資格　清水市内の少年団単位の育成会とし，現在少年団活動をしている少年少女の父母によって組織されたチームで，参加項目の守れたチームとする。

特別育成会員はそのチームに貢献のある人で，満40才以上とする。

指導者は常時指導している者とする。

運　　営　審判は指導者が厳しくあたる。(話し合いをもって徹底する)

当番チームを作る。当番チームは，はじめの体操の指導とゲームの準備と記録をまとめて会場責任者に提出する。(一枚はゲームの結果，一枚は会場管理状態)

参 加 料　電気料，運営費，施設費，計３万円とし各チームで負担

規　　約

1．出場選手は登録済みの者とし，追加登録を認めるが参加資格に合格した者。背番号をしっかり登録する。

2．常時出場メンバーは，指導者１名と他登録メンバーとし，１ゲームに15名以上出場する。したがって参加チームは15名以上でなければならない。

3．どんなトラブルを起こしても，そのチームは出場を停止する。(審判絶対。おちつきのある態度)

4．試合は20分ハーフとし４号ボールを使用する。くつはゴムポイント・インジェクターシューズまで認めるが，ポイントのスパイクは認めない。

5．傷害関係並びに選手の輸送の時の事故等は各団で各自が責任を持つ。

6．全体を１リーグ総当たりとする。

7．５月第１火曜日から第１，第３火曜日に試合を行う。第１，第３火曜日が雨天の場合は第２第４火曜日に行う。（出場チーム数によって変わる）

8．会場の都合でゲームのできない時もあると思われるので，各団の連絡網を作っておくこと。会場責任者は互いに連絡をとり合って，決定したことを斉藤和明に申し出，各団責任者にその旨を連絡する。

9．ユニホームは背番号をはっきりつけ，白と色物を準備する。ビップスを用意すれば１枚でもよい。

10．当番チームを作るので準備（体操を含む）記録をし，会場責任者に記録を提出する。かたづけは最終ゲームの両チームがやる。

11．各会場とも使用上の規定があると思われるのでそれを守ること。それ以外に次のことをする。

- A．トンボがけ
- B．タバコの吸いがらやゴミの処理。(選手は吸わない)
- C．決められた所に自動車は駐車する。

12．ゲームの組合わせと日程，当番，審判は後日発表。

13．体操に参加しない者はゲームに参加させない。

会　　場　清水小　有度一小　高部小　袖師小
責 任 者　鈴木　行方　中島　望月　大石　斉藤　望月　加藤　平岡
会　　計　中島　　**総　　務**　堀田　鈴木　小花

清水社会人チーム紹介

旭フットボールクラブ

監督　松永　和男
マネージャー　伏見　光治
創設　四十九年十月

私たちの旭フットボールクラブは一昨年十月にサッカーを通じて健康な身体をつくり、会員の友好を深め、且つ豊かな人間性を築くことを主たる活動目的として発足したクラブチームで会員数は二十七名です。

会の構成はそれぞれ活動を円滑にするために監督、主将、主務、会計、練習指導の執行委員がいて責任が分担されています。

会の活動状況は原則として月二回の活動を目指していますが、旭FCの最大活動行事は何といっても今期清水市社会人サッカーリーグに加入したリーグ戦の消化です。その他には単なる練習の活動、会員の友好をはかるためのリクレーション活動、一年間の活動方針及び執行委員役員改選等を決定する全体ミーティングが主たる活動です。

私たち旭FCの胸を張っていえる点は、第一にその活動目的と趣旨にあり、気軽にだれでも参加でき、いつでもどこでもその人に応じて適当に楽しめる、これが私たち旭FCの特徴なのです。

＜旭フットボールチーム＞

伊藤鉄工サッカー部

監督　小長井辰巳
マネージャー　鈴木　睦子
創設　四十三年三月

四十三年三月に創設同九月素人リーグを結成しリーグ戦を開始、四十四年社会人Cリーグに加入登録、四十九年Bリーグに昇格現在に至る。

全くの素人が集まってサッカー部を結成。当時入江小の堀田先生に指導を仰ぎ、先生の指導の巧さとサッカーの魔力に取りつかれ、入江小をホームグランドとして連日猛練習？に明け暮れた。

「類は友を呼ぶ」でいつしか集まった多くのサッカー狂と先生の肝いりで素人リーグを結成し、ゲームを楽しんだ。

生まれて初めての試合は雰囲気に呑まれ、足かせをはめられた奴隷のように身体がままならず、平均年令四十才位のチームに負けてしまった。

爾来今日まで幾度か優勝の機運に恵まれたのですが、勝点1を上げ得ず無念の涙を呑んだ。

チームカラーは純白のユニホームに象徴されるように誠実でファイプレーを旨とし、ツートップの職人が中央突破でゲットし勝利する形。課題はバックスの活動量増大と意図的オープン攻撃、人材確保。

＜伊藤鉄工チーム＞

イハラ建成サッカー部

監督主将　森田　勘作
マネージャー　池田　洋子
創設　四十八年十月

我がチームは職業（建設業）柄、チーム結成が困難であったが、サッカーの経験者二、三人が会社に掛け合い、サッカー部成立に至った。

経験者が少ないため、練習を充分に積み、練習試合も数回行ない、リーグ加入に備えた。

清水市のCリーグ四十九年度加入し思いも寄らぬ優勝という栄冠を受けた。

チームの特徴としては、守備主体にHBからのたての攻撃がほとんどで、横に開いてセンタリングという型はあまりない。そのため、Cリーグでの戦績でも失点が少ない割には得点も少なかった。これからは全員攻撃全員防御という本来のサッカーに近づけたいと思っている。

＜イハラ建成チーム＞